

<①様式1>

相談受付票

1)	相談日	平成	年	月	日
2)	受付No.	No.			
3)	利用者氏名				(男・女)
4)	生年月日	昭和	年	月	日 (才)
5)	現住所				
6)	現住所の電話番号				
7)	家族状況 (補助様式2とリンク)				
8)	相談内容 (補助様式1とリンク)				
9)	現在利用しているサービス (補助様式2とリンク)				
10)	相談面接結果				
11)	相談者名 (氏名・障害者との関係・住所・TEL/FAX)				

②補助様式1 生活上の困難とプラス面の大ききかな見立て

1. 現在、困っている生活上の困難の大ききかな見立て

<現在の生活上の困難（顕在化ニーズ）>

<予想される生活上の困難（潜在化ニーズ）>

<包括的な支援の必要性>

<継続的な支援の必要性>

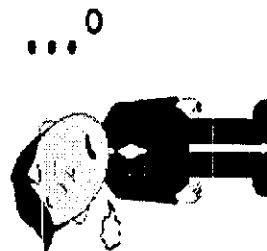
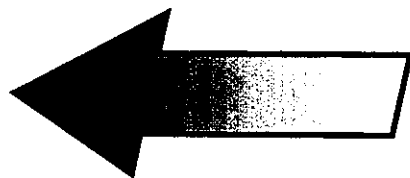
<ニーズ表面の困難さ>

2. ケース（利用者や環境）がもつ生活機能のプラス面 (strengths)

<利用者のもつプラス面>

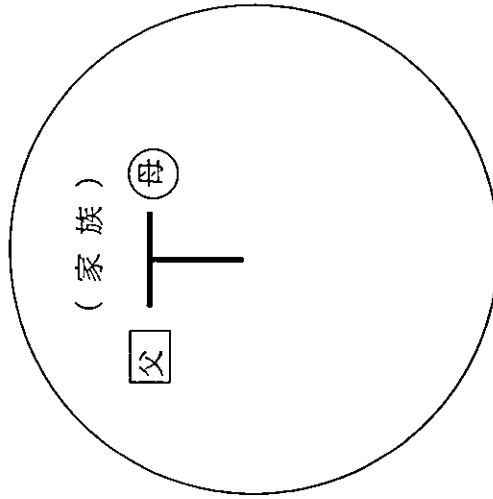
<環境のもつプラス面>

それぞれの
めざす生活へ



③ 補助様式2 (本人をとり巻く社会資源・人間関係等の把握) 作成日 年月日
自由記載 氏名 担当者 時点の状況

【エコマップ】



オプション用紙

<④様式2>

一次アセスメント票（訪問票）

1) 受付No.	
2) 氏名	(男・女)
3) 訪問年月日	平成 年 月 日
4) 訪問者氏名・所属名	
5) 訪問目的	
6) 本人の概要	
生活歴	病歴（治療・相談歴等）
— 現在	— 現在
医療機関利用状況	
7) 現在の生活状況の概要	
1日の生活	1週間の生活
— 起床	— 月
	— 火
	— 水
	— 木
	— 金
	— 土
— 就寝	— 日

8) **利用者の状況** (*各領域のセルフケア状況と本人のニーズを把握)

<生活基盤に関する領域>

経済状況

住環境

<健康・身体に関する領域>

服薬管理

食事管理

病気への留意

体力

<日常生活に関する領域>

寝返り

起き上がり

衣類着脱

整容行為

食事行為

排泄行為

入浴行為

屋内移動

調理

洗濯

掃除

整理・整頓

ペットメーキング

書類の整理

買い物

衣類の補修

育児

<コミュニケーション・スキルに関する領域>

意思表示の手段

意思伝達の程度

他者からの意思伝達の理解

電話の使用

FAXの使用

パソコン

ワークプロ

筆記

＜社会生活技能に関する領域＞

対人関係

屋外移動

金銭管理

危機管理

＜社会参加に関する領域＞

レクリエーション等

趣味

旅行

当事者団体の活動

各種社会的活動

＜教育・就労に関する領域＞

教育

就労

＜家族支援に関する領域＞

家族

9) 本人の要望・希望するくらし

10) 家族の要望・希望するくらし

11) 関係職種から得た情報
(様式3とリンク)

12) 家屋の見取り図

13) 対応者所見

＜⑤様式3＞ 二次アセスメント票

1) <input type="text" value="利用者氏名"/>	2) <input type="text" value="専門職氏名"/> 職 種
3) <input type="text" value="専門職所属"/>	
4) <input type="text" value="現状・ニーズの阻害要因"/>	
5) <input type="text" value="改善内容・改善手段"/>	
6) <input type="text" value="訪問者所見・その他の情報"/>	
7) <input type="text" value="添付資料等"/>	

⑥ 補助様式3 ニーズ整理表

相談受付表から一次アセスメント		二次アセスメント 二次アセスメント の依頼先	整理されたニーズ
主訴（訴え、要望）	利用者の状況、 気になる情報		

<⑧様式4> ケア計画表（当面の目標とチームアプローチ）

氏名

平成 年 月 日作成

1 援助の全体目標

本人のめざす暮らし（大目標）：

当面の目標：

2 具体的な計画

当面の目標を達成するための小目標(ニース)	優先順位	目標達成のためのチームアプローチ (サービス内容・頻度・時間)				期限	援助目的
		本人	家族	知人等	専門家 (提供先・担当者)		
①							
②							
③							
④							

3 あったらしいなと思われるサービス（新たな社会資源の構築へ）

4 計画を立てるにあたり「心がけた」こと（支える共通のコンセンサス）

作成者氏名・所属：

障害者ケアガイドライン準拠

⑨補助様式4（本人用）

計画画表

目指す目標		あなたの役割	メモ
当面の目標	応援するサポーターの支援内容等		
当面の目標を達成するための課題（小目標）			

サポーターの連絡先一覧

(さん)
(さん)
(さん)
(さん)
(さん)
(さん)

<⑩様式5>

週間ケア計画表

受付 No.

氏名

平成 年 月 日作成

	早 朝	午 前	午 後	夜 間	摘 要
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					
摘 要					

作成者氏名・所属:

障害者ケアガイドライン準拠

研究費の名称：厚生労働科学研究費補助金

厚生労働科学特別 研究事業

精神障害者の地域生活支援の在り方に関する研究（H16-特別-009）

作成者一覧

主任研究者

高橋清久（国立精神・神経センター／藍野大学）

分担研究者

伊藤順一郎（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

研究協力者

相澤欽一（障害者職業総合センター）

門屋充郎（日本精神保健福祉士協会）

香田真希子（日本作業療法士協会）

曾根直樹（東松山市総合福祉エリア）

谷野亮爾（日本精神科病院協会）

仲野栄（日本精神科看護技術協会）

久永文恵（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

三澤孝夫（国立精神・神経センター 武蔵病院）

山口弘美（精神障害者九州ネットワーク）

秋保明（仙台市役所 障害企画課）

窪田彰（日本精神神経科診療所協会）

鈴木友理子（国立精神・神経センター 国府台病院）

武田牧子（社会福祉法人 桑友）

寺田一郎（全国精神障害者社会復帰施設協会）

西尾雅明（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

深谷裕（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

三品桂子（花園大学）

吉田光爾（新潟医療福祉大学／国立精神・神経センター
精神保健研究所）

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
「精神障害者の地域生活支援の在り方に関する研究」

平成 16 年度 総括研究報告書

発行日 平成 17 年 4 月

発行者 主任研究者 高橋 清久
分担研究者 伊藤順一郎

発行所 国立精神・神経センター

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1